

平成30年度 県立北はりま特別支援学校 夏期公開研修会のご案内（案）

～対象：多可町、西脇市、加東市の保幼、小、中、高の職員、福祉、療育関係者～

●公開全体研修会（支援部）

「発達障害と食の困難さについて —当事者の声から考える困難とその対応—」

講師：立命館大学 田部 絢子 氏

- 1 日時 平成30年8月23日（木）14:00～16:00（受付13:30～）
- 2 場所 西脇市生涯学習まちづくりセンター マナビータ・プラザ（西脇市郷瀬町605番地）
- 3 研修内容 「発達障害と食の困難さについて

—当事者の声から考える困難とその対応—

「子どもがご飯を食べない」「食べられないものが多すぎる」

発達障害のある子どもは、食事での困難を抱えていることが少なくありません。例えば、極端な偏食があったり、噛んだり飲み込んだりすることに苦手があったりと、食に関係するさまざまな困難が表出することがあります。しかし、こんなにも大きな困難があるにも関わらず、周囲からは理解を得られず、「わがまま」「自分勝手」「甘やかしている」と誤解を受けるケースも珍しくありません。食の困難さは、知的障害や他の障害においても共通している部分が多いです。なぜ偏食がみられるのでしょうか。そして、食に対する困難のある子どもたちを取り巻く環境は？ 支援は？ みんなで一緒に学んでみませんか？

- 4 講師紹介 立命館大学 産業社会学部 准教授
田部 絢子（タベ アヤコ）氏



女子栄養大学栄養学部卒業

東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程特別支援教育専攻修了

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程発達支援講座修了

博士（教育学）、管理栄養士

専門は特別支援教育・特別ニーズ教育・家庭科教育。

私立中学・高校家庭科教諭、大阪体育大学教育学部准教授を経て現在、立命館大学准教授。

一般社団法人日本特殊教育学会代議員。

日本特別ニーズ教育学会理事・機関誌編集委員。

田部絢子准教授が行う共同研究をベースに作成された報道番組

「発達障害のこども：“偏食”の実態明らかに」がNHK 総合テレビと国際放送テレビで放映。「リタリコ発達ナビ」「教育新聞」などにも多数取り上げられている。

【問合せ先】

兵庫県立北はりま特別支援学校

担当：大牧

Tel (0795) -32-3672 Fax (0795) 32-3967